

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして  
みんなが  
**住んでよかつた**  
と思える川西市に…

**黒豆の声**

「ここでは80歳の私は若者だ  
私が語り続けなければならない  
今も入所者の半分は偽名しか名乗れない・・・納骨堂に収められた者の  
半分以上が偽名だ」

らい予防法によって  
療養者をがんじがらめに縛りつけ  
自由を奪い  
人権を無視した  
断種・墮胎・監禁・・・  
島の外には情報が届かなかった

平均年齢85歳  
平均入所年数60年  
ハンセン病の患者はひとりもいない  
(全員完治)  
でも・・・ここに居らざるをえない  
過酷な作業と病気の後遺症や  
障がいに苦しみながら  
ここで余生を送られている

本島からわずか30mの島  
橋がついたのは長島愛生園(国立療養所)建設から58年。らい予防法の廃止はそれから8年後

闘いのあとだ・・・  
ハントを行い  
自治会をつくり  
高校をつくった  
らい予防法違憲国家賠償請求訴訟の  
勝訴(2001年)

人間回復・・・  
差別と偏見に立ち向かい  
二度と同じ過ちを起こさせないよう  
瀬戸内海にある3つの  
ハンセン病療養所を世界遺産にと  
運動をされている

人間を取り戻せ!  
未来への夢と希望を語り続ける  
人間の凄さ  
素晴らしさを熱く感じた

(2016年12月15日)

長島愛生園にて)

**たんぽぽだより**

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控え室 TEL 740-1111(内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

<http://kurodamich.exblog.jp>



# 川西病院 市民本位で存続・発展を! 危ない「民営化」「独立行政法人化」

市立川西病院は現在、不足で、市は国が進める独立行政法人化などの「病院改革」を拙速に進めようとしています。市民の財産である病院・地域医療の拠点を十分な検討もせずになくしていいのでしょか。

市長の諮問を受けた「市立川西病院事業経営改革審議会」は、わずか4回の会議(9月14日から11月14日開催)で、「答申」を提出、12月22日市役所・川西病院・公民館などで改革プラン(案)公表

**地域医療の拠点として**

公立病院は、産婦人科や小児科、救急医療などの不採算部門も抱えながら市民の医療ニーズにこたえています。将来像について川西病院は、2014年度、市民アンケートを実施し、「あり方検討委員会」連携、再編、新しい環境整備を重ね、「市立病院として存続、地域医療の確保と拠点病院としての責務を果たす」などの方向性を打ち出し、努力しているところです。

ところが市は、国が自治体に経過無視した計画が厳しいものではあります。市長の諮問を受けた「市立川西病院事業経営改革審議会」は、2014年度、市民アンケートを実施し、「あり方検討委員会」連携、再編、新しい環境整備を重ね、「市立病院として存続、地域医療の確保と拠点病院としての責務を果たす」などの方向性を打ち出し、努力しているところです。

**核兵器廃絶国際署名・市長ら市幹部が署名**

私(黒田)は12月議会の一般質問で「平和首長会議加盟自治体としての取り組みについて」を取り上げました。

川西市は、1989年に「非核平和都市宣言」を行い、2013年に世界の恒久平和の実現と核兵器廃絶に向けた平和首長会議に加盟しました。

今年11月8日の第6回平和首長会議国内加盟都市会議総会では、①「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」に賛同・協力すること、②日本政府に対して「核兵器禁止条約」の早期実現に向けての要請文を提出すること、を確認しており、川西市の対応を提案しました。

これに対して市当局は、「平和首長会議の趣旨にのっとり、寄与するよう努めること」、大塩市長は「国際署名をする」と答弁しました。

後日、市長はじめ、副市長、教育長、議長、副議長6名の方がそれぞれ国際署名をしてくださいました。まとめて国連に届けます。(来年3月もしくは6月予定)



日本共産党の志位和夫委員長は3日、大阪市内の街頭演説で安倍政権の強権・暴走政治を厳しく批判しました。志位氏は、安倍政権を倒す希望は「野党と市民の共闘」にあると力説。「来るべき総選挙を野党共闘の前進、日本共産党の躍進で安倍政権を退陣に追い込み、新しい政治をつくる選挙にしよう」と力強く呼びかけました。

# 自公維に 退場の審判を

カジノ法案  
「読売」5日付



す。民意を無視し、强行に走らざるをえない安倍政権。国民との矛盾は広がるばかりです。

国会が異常事態です。毎週のように強行採決が繰り返されています。環太平洋連携協定（TPP）承認案・関連法案、年金力ット法案、そしてカジノ解禁推進法案。犯罪である賭博＝カジノの解禁には、国民世論とともにメディアがこぞつて反対の声をあげています。民意を無視

# TPP、年金、カジノ 次々強行

### 法案に対する態度

	自公	維新	野党4党
2016年第2次 補正予算	○	○	×
TPP承認案 ・関連法案	○	○	×
年金カット 法案	○	○	×
カジノ法案	○※	○	×

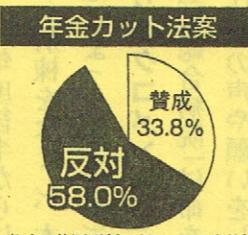
○=賛成 ×=反対 ※公明党は自主投票で一部議員が反対

# 強行助ける維新鮮明

「次の総選挙では、  
国民多数の声を踏みつけにして暴走する“悪政推進3兄弟”的自

日本共産党の志位和夫委員長は3日、大阪市内の街頭演説で安倍政権の強権・暴走政治を

ために日本の経済主権や食料主権が脅かされる環太平洋連携協定（TPP）承認案。国会審議中に、所管する山本有二農水相が「強行採決」を国会に促すような暴言を吐き、そ



――わが党は結党以来、強行採決しようとしたことはない」――  
国会答弁で安倍晋三首相  
相がうそぶいたのが10月17日。それからわずか1カ月半の間に強行採決を連発しました。

の言葉通りになりまし  
た。年金カットの限  
界のない年金削減  
の新たなルールを持ち  
込む「年金カット法案」。野党議員の質疑  
中に安倍首相は「こんな議論を何時間やつて  
も同じ」と言い放ち、  
直後に强行採決に踏み

切りました。審議時はわずか19時間です。

の懸念を示すなか、たった5時間33分の審議で強行採決しました。

す。カジノ法案については経団連の榎原定征会長も「拙速な審議は避け、しっかり議論してほしい」と注文したほどです。

25日)と厳しく批判しています。

# 世論反対

# メディアが批判、経団連も異論

